

## ホームページ紹介

<http://www.techmatrix.co.jp/>



**TechMatrix**  
テクマトリックス株式会社

## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日

定時株主総会 3月31日

期末配当金 3月31日

中間配当金 9月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
(同送付先) 〒137-8081

東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-232-711 (通話料無料)

同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

公告の方法 電子公告の方法により行います。ただし、  
電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。  
公告掲載URL  
<http://www.techmatrix.co.jp/>

株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っております。

電話(通話料無料) 0120-244-479(本店証券代行部)  
0120-684-479(大阪証券代行部)

インターネットホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。

**TechMatrix**

Insight into the future

# 第24期報告書

2007.4.1 ▶ 2008.3.31

TMX Way 2010



本冊子は環境保全のため再生紙を使用し、大豆インキで印刷しています。

## 企業理念

### 常に情報通信の最前線を捉え続けたい。 そして常にお客様のニーズに応えたい。

#### これがテクマトリックスの原動力です。

テクマトリックスは、最新のIT技術を活用し、顧客企業のビジネスモデル変革と企業競争力の強化をご支援するITのスペシャリスト集団です。

顧客企業のニーズを把握し、問題解決を行うソリューション・プロバイダーとして、高付加価値の提供と顧客満足度の向上を目指すIT技術のプロフェッショナルであり続けたいと考えています。

顧客企業におけるアプリケーション、ネットワーク・インフラ、セキュリティ・インフラ導入のライフサイクルである分析→設計→開発・構築→テスト→運用・保守の全てのプロセスに渡るトータル・サービスを提供し、顧客企業の経営基盤を支える重要なパートナーとなることを目指しています。

テクマトリックスは、日々技術革新が進むIT分野において、常に新しい技術トレンドを掴み、時代を先駆ける最先端かつ最高のテクノロジーとソリューションをお届けします。

## CONTENTS

企業理念	1	トピックス	7
株主の皆様へ	2	業績ハイライト	9
各事業セグメントのご紹介	3	セグメント別営業概況	10
プロダクト・インテグレーション事業概要	4	連結財務諸表	11
カスタムメイド・ソリューション事業概要	5	個別財務諸表	13
パッケージ・ソリューション事業概要	6	会社概要／株式情報	14

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日々益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、第24期（2007年4月1日から2008年3月31日まで）が終了致しましたので、当報告書にて、営業成績、概況、成果などをご報告させていただきます。詳しくは後のページに譲ると致しまして、私からは第24期を通して実践した活動方針や、今後の当社の課題などについて触れたいと思います。

当社では、第24期より始まる3カ年を対象として、新たな中期経営計画「TMX Way 2010」を発表しております。「TMX」とは、テクマトリックス（TechMatrix）の略であり、「TMX Way」とは、テクマトリックスとしての独自の道程という意味になります。当社は、新しい3カ年において、当社独自のアイデンティティを追求し、マーケットの中でも存在感を認められるようなオリジナリティに溢れた事業創造に取り組み、ワンランク上の企業への脱皮を目指しております。具体的には、①事業規模の更なる拡大、②安定収益となるストック型ビジネスの推進、③当社3事業のバランス成長の継続、④M&Aなどレバレッジを効かせた成長へのチャレンジ（積極的な事業投資）を目指しております。この基本方針の下、新中期経営計画初年度に当たる第24期の成果は、新中期経営計画を達成するための非常に重要な布石となります。

定量面では、第24期は、連結ベースで売上高116億12百万円、営業利益10億99百万円、経常利益11億45百万円、当期純利益5億25百万円となりました。2008年年明け以降、サブプライム問題に端を発した世界的な信用不安、日本を含む世界経済の減速、原油高や資源高、政治の混乱による税制面での混乱など、様々な不安要素が噴出しました。このような状況の中、期末の駆け込み需要が少なく、例年のように第4四半期において大きな受注を積上げることができませんでした。結果として、第24期の定量面での実績は、計画値を若干下回りました。

しかしながら、定性面においては、これまで積上げた内部留保を積極的に活用し、医療分野において遠隔読影を支援するサービス会社「合同会社医知悟」を当社初の連結子会社として設立し、また、ITインフラ構築のための技術リソースの補完とストック型ビジネスである保守・運用業務やアウトソーシングの推進を担う戦略子会社として、クロス・ヘッド株式会社及び沖縄クロス・ヘッド株式会社を連結子会社化致しました。第24期は、将来に向けての成長を担保するための事業投資と連結経営への移行を実現した年となりました。

第25期より連結子会社における売上高及び損益もフルに連結され、今後は、テクマトリックス・グループ全体としての総力の結集及び経済圏の確立を実現し、第24期に行った投資の成果を確実に刈り取って行く必要があります。今後も、当社3事業の事業ポートフォリオを堅持し、バランスの良い成長を実現すると共に、グループ企業各社の機能を十分に活用して、事業シナジーを最大限に発揮して行く所存です。近年、当社が参画するシステム構築・開発プロジェクトは、高い品質と安定性が求められる経営に直結したミッション・クリティカルなシステムが増えてきており、当社の果たすべき責任は益々重くなってきています。顧客企業の期待に沿える高品質なサービスや製品を提供し、顧客から信頼されるソリューション・プロバイダーを目指して、全従業員一丸となって努力してまいります。



当社は、これからも企業価値の向上を通じて、株主の皆様への貢献を目指します。今後とも株主の皆様にはより一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2008年6月  
代表取締役社長 由利 孝

## 各事業セグメントのご紹介

3つの事業領域が有機的に連携。  
常に成長を続け、より付加価値の高いビジネスモデルを構築していきます。



## Product Integration

### ■ プロダクト・インテグレーション事業概要

成長性のあるニッチ市場に特化したビジネスモデルで、目利き力を活かした競争力の高い製品と、単なる製品販売に留まらないソリューションを提供します。



事業名	ソリューション	主要取扱製品	備考
IPネットワーク・インフラストラクチャ	<ul style="list-style-type: none"> <li>アクセス集中によるWebサイトの不安定化を解消</li> <li>システム停止やバックアップなしにデータ容量追加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>負荷分散装置のトップシェアを誇る米国F5社製品（当社は一次代理店）</li> <li>クラスターストレージで技術的評価の高い米国Isilon社製品</li> </ul>	ネットビジネスの急拡大により成長市場
セキュリティ・ソリューション	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合的なセキュリティ対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「使い捨て」パスワードによる個人認証のトップシェアを誇る米国RSA社製品（当社は一次代理店）</li> <li>米国McAfee製品 他</li> </ul>	個人情報保護法の完全施行
ソフトウェア品質保証	<ul style="list-style-type: none"> <li>プログラム開発の効率化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テストプログラムのトップシェアを誇る米国パラソフト社製品の独占販売</li> </ul>	ソフトウェア品質改善の高まり

### ソフトバンクBB株式会社様



「Yahoo! BB」などのブロードバンド事業を展開するソフトバンクBB様は、2007年9月にIP電話を中心とする新サービス「myBBコミュニケーター」をスタートしました。このサービスは、Yahoo! BB以外のISPIに加入しているユーザーがISPを変更せずにBBフォンを利用できるというもので、その上にチャットやテレビ電話などのコミュニケーションツールを利用できることで注目を集めています。この

サービスを立上げるにあたり、当社が販売するストレージシステム「IsilonIQ」が採用されました。「IsilonIQ」は、メール、ボイスメール、電話やメールの履歴と言った膨大なデータを安全に保存するストレージとして、画期的なサービスを強力に支えています。

## Custom-made Solution

### ■ カスタムメイド・ソリューション事業概要

特定分野（Eコマース、金融リスク管理）における豊富な業務ノウハウの蓄積と機動力を活かし、スピード感のある成長企業や大手金融機関へ、顧客ニーズに沿うシステム受託開発を提供しています。有力顧客との継続取引により、安定的に事業を展開しています。



事業名	ソリューション	代表的なユーザー	備考
カスタマー・ソリューション	<ul style="list-style-type: none"> <li>ECサイトの構築</li> <li>安定稼働の実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽天</li> <li>リスクモンスター</li> <li>スタイライフ</li> <li>ネクスト</li> </ul>	優良顧客との安定的な取引
金融ソリューション	<ul style="list-style-type: none"> <li>高度なリスク管理</li> <li>金融商品取引の管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大手銀行、生保、損保、金融IT企業</li> </ul>	時価会計導入の高まりを受け堅調に取引を拡大中

#### 株式会社東京都民銀行様 楽天フィナンシャルソリューション株式会社様



東京都民銀行様と楽天様との業務提携により実現したインターネットバンキングサービスを提供する「東京都民銀行楽天支店（楽天バンク@TTB）」が2007年7月にサイトをオープンしました。このサイトでは、口座開設の申し込み受付のページ、開設状況などを顧客自身が照会できるページ、問い合わせ受付のページ、CRMに格納されているFAQの情報

を表示するページなどWeb関連の大部分を当社が担当、Webシステムの開発と言う当社の強みを十分に発揮することができました。また、本案件では、本番稼働直前のアプリケーション品質テストも当社が担当し、このサイトのサービスの品質強化に大きな貢献を果たすことができました。

## Package Solution

### ■ パッケージ・ソリューション事業概要

カスタムメイド・ソリューションから新たなパッケージビジネスを創出し、顧客ニーズに密着したパッケージ製品の開発により、最適なソリューションを提案します。業務ノウハウのパッケージ化により、事業の効率的横展開を実現することに成功しました。



事業名	ソリューション	主要パートナー	備考
CRMソリューション	<ul style="list-style-type: none"> <li>コールセンター業務の円滑化 製品名：FastHelp</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベルシステム24</li> <li>交換機ベンダー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国産パッケージのトップを狙う製品の開発</li> <li>500社以上に導入済</li> <li>小規模から1,000席以上の大型センターにも対応</li> </ul>
医療ソリューション	<ul style="list-style-type: none"> <li>医用画像管理システム 地域医療連携 製品名：SDSシリーズ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な販売チャネル</li> <li>電子カルテベンダー</li> <li>医療機器ベンダー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>政府が医療機関のIT化を後押しへ</li> <li>地域拠点病院を核に地域医療連携へ展開</li> <li>中小規模（100～400床）をターゲットに200施設以上に導入済</li> </ul>

#### 株式会社ツムラ様

医療用漢方薬で圧倒的なシェアを誇るツムラ様では、グループの事業領域が医療用医薬品からバスクリン等の家庭用品まで多岐にわたることから、目的別に複数のヘルプデスクを運営しておられます。これまでは、それぞれのヘルプデスクで異なるシステムをお使いでしたが、情報共有や操作性など多くの課題があったことから、新しいシステムとして「FastHelp」シリーズを導入いただきました。

ツムラ様では、CS（顧客満足）とES（従業員満足）を向上させるためのシステム基盤として「FastHelp」シリーズを積極的にご活用いただいております。将来的には他部門での利用もご検討いただいております。



クロス・ヘッド株式会社を連結子会社化

**当**社は、2007年7月にクロス・ヘッド株式会社の株式33.4%を取得し、持分法適用関連会社としました。さらに、2008年1月に同社株式33.3%を追加取得し、同社ならびに同社の子会社である沖縄クロス・ヘッド株式会社を連結子会社化しました。

当社のプロダクト・インテグレーション事業におけるIPネットワーク・インフラストラクチャ分野ならびにセキュリティ・ソリューション分野では、負荷分散装置をはじめとした主力商材の販売増加により順調にビジネスを拡大しておりますが、当社の付加価値をより高めるために、製品の販売に留まらず、設計／構築／保守／運用といったサービス事業の強化を図っています。そのためには、技術者のリソース確保と、保守／運用サービスを推進するための事業パートナーとの提携が課題となっていました。

一方、クロス・ヘッドは、ネットワークに特化した豊富な技術者を有し、ネットワーク・インフラの構築及び技術者の派遣をコア事業としております。また、保守／運用サービスにおける技術蓄積を活かしたMSP (Management Service Provider) 事業\*を展開しており、24時間365日のシフト勤務にも対応した人材を有しており、当社事業を補完しうるパートナーとなります。

今後、両社がタッグを組むことにより、顧客企業に対

してシステムのライフサイクル全体を支援する体制が整うことから、「テクマトリックス・グループ」としてより一層付加価値の高いサービスを提供することが可能になります。

\*MSP事業：企業が保有するサーバやネットワーク保守／運用／監視を請け負うサービス。



CROSS HEAD

クロス・ヘッド会社概要

クロス・ヘッド株式会社 (CROSS HEAD)

事業内容 ネットワークの設計／開発／構築／保守業務。IT技術者の派遣業務並びに有料職業紹介事業 等

設立 1992年9月14日

資本金 3億9,500万円

ホームページ <http://www.crosshead.co.jp/>

CRM FORUM 2008を開催

**2**008年2月8日、六本木ミッドタウンにおいて、「テクマトリックス CRM FORUM 2008」を開催いたしました。「CRM FORUM」は、当社主催によるプライベートイベントであり、昨年度に引続き2回目の開催となりますが、今年は約700名のお客様にご来場頂き、昨年度にも増して盛況なイベントとなりました。

「テクマトリックスCRM FORUM 2008」では、ジャーナリストの田原総一郎氏、元バレーボール日本代表の中田久美氏による基調講演に加え、当社製品のユーザー企業様及びCRMソリューションを展開しているパートナー企業様による講演や導入事例の紹介

を頂くとともに、当社より「FastHelp」の第4世代製品となる新バージョン「FastHelp4」（2008年5月発売開始）のデモンストレーションを披露いたしました。



自社開発製品である「FastHelp」は、コールセンター／コンタクトセンターのシステムとして多くのお客様からご支持を頂き、既に約500社の企業様・法人様にご採用頂いております。今後も日本のコールセンター／コンタクトセンターシステムの“デファクト・スタンダード”を目指して努力してまいります。

個人投資家説明会を開催



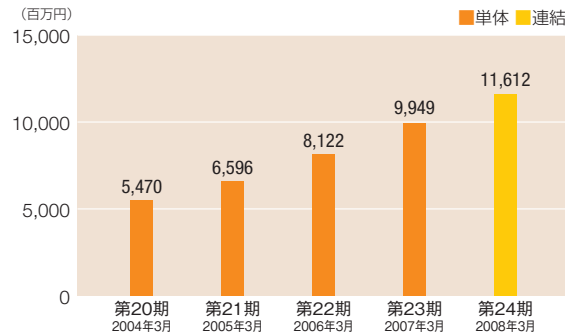
**2**008年1月、日本証券新聞社主催による個人投資家様向け説明会に参加、120名以上の個人投資家の皆様にご来場頂き、代表取締役 由利より会社の事業内容や、業績、中期経営計画について説明させて頂きました。

また、質疑応答やアンケートでは、当社の株価の推移や配当利回りを含め、多方面に亘るご意見・ご質問を頂きました。

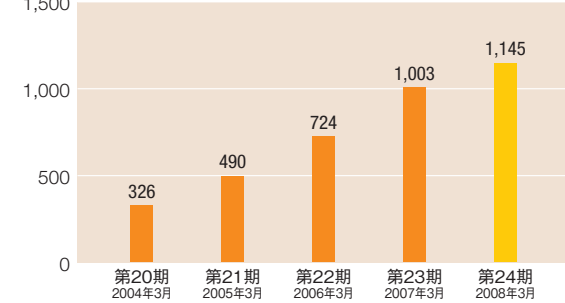
今回の説明会で頂戴したご意見をIR活動に活かしていくとともに、今後も個人投資家の皆様に対して積極的なIR活動を続けてまいります。

## 業績ハイライト

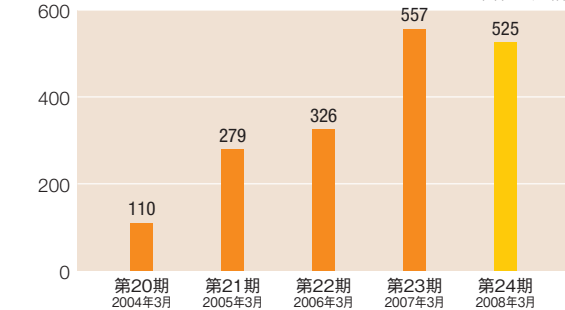
### 売上高



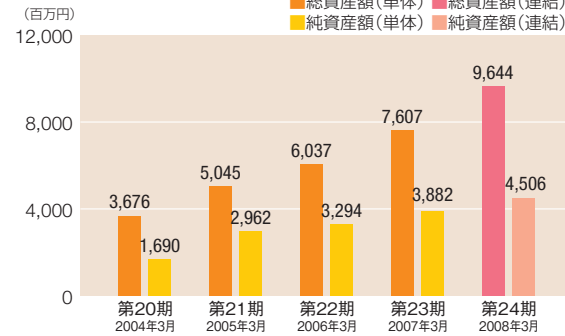
### 経常利益



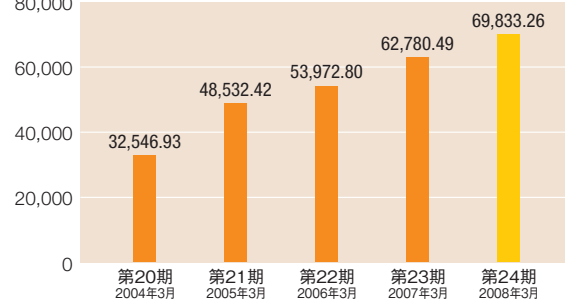
### 当期純利益



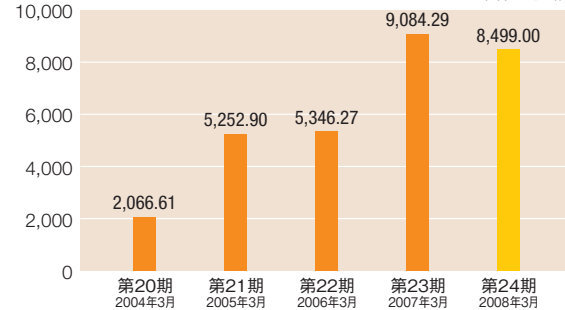
### 総資産額／純資産額



### 1株当たり純資産



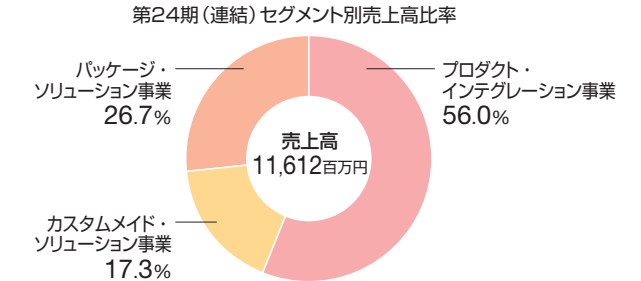
### 1株当たり当期純利益



※2004年8月16日付で、普通株式1株につき8株の株式分割及び2005年5月20日付で、普通株式1株につき2株の株式分割をそれぞれ行っております。これに従い、第20期の指標についても遡及修正した数値にて表示しております。

## セグメント別営業概況

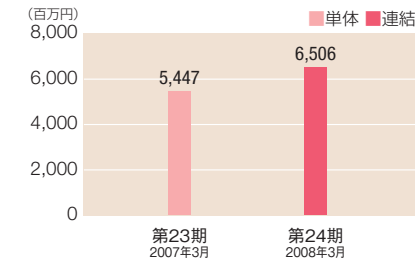
当連結会計年度の売上高は116億12百万円となりました。売上総利益は36億72百万円となりました。一方、販売費及び一般管理費は25億72百万円となり、この結果、営業利益は10億99百万円となりました。また、売上高営業利益率は9.4%となりました。経常利益は11億45百万円となりましたが、有価証券評価損の計上により当期純利益は5億25百万円となりました。



### プロダクト・インテグレーション事業

IPネットワーク・インフラストラクチャ分野、セキュリティ・ソリューション分野では、負荷分散装置、クラスター・ストレージ製品、個人認証システム等の主力製品の販売が好調に推移しました。ソフトウェア品質保証分野では、第1四半期の大型案件の受注もあり、テストツールの販売が大きく拡大しました。コンサルティング・サービスの受注実績も積み上がりました。以上により、同事業の売上高は65億6百万円、営業利益は9億40百万円となりました。

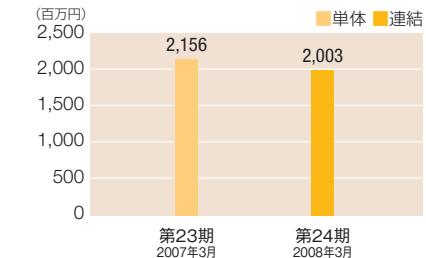
### プロダクト・インテグレーション事業売上高



### カスタムメイド・ソリューション事業

カスタマー・ソリューション分野では、当社筆頭株主である楽天株式会社、リスクモンスター株式会社といった継続取引先とのビジネスは堅調に推移しましたが、納入したシステムの不具合対応が響き、売上を伸ばすことができませんでした。金融ソリューション分野では、市場リスク管理のパッケージ製品の商談が長引いた影響により、売上を伸ばすことができませんでした。以上により、同事業の売上高は20億3百万円、営業利益は52百万円となりました。

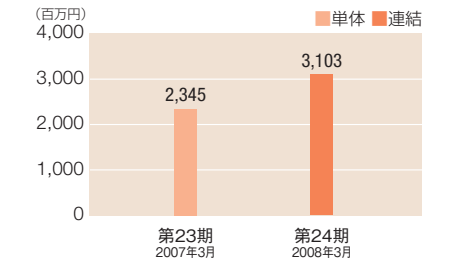
### カスタムメイド・ソリューション事業売上高



### パッケージ・ソリューション事業

医療ソリューション分野では、前期に受注した大型案件をはじめ、販売実績が拡大しました。また、平成20年度診療報酬改定において、平成20年4月1日以降フィルムレス加算が決定した影響により、年度末の駆け込み需要も獲得しました。CRMソリューション分野は、パートナーとのアライアンスも奏功し、製造業、金融、製薬などの幅広い業界での新規受注に加え、既存顧客からの追加受注も拡大し、販売実績が伸長しました。以上により、同事業の売上高は31億3百万円、営業利益は1億4百万円となりました。

### パッケージ・ソリューション事業売上高



※当社グループは、当連結会計年度より連結計算書類を作成しているため、前連結会計年度との比較はしていません。

## 連結財務諸表

### 連結貸借対照表(要約)

(単位:千円)

科 目	第24期 2008年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>	
流動資産	7,050,455
現金及び預金	2,146,366
受取手形及び売掛金	3,186,533
たな卸資産	534,248
前渡金	50,563
前払保守料	742,448
前払費用	116,055
繰延税金資産	206,403
未収入金	67,506
その他	2,773
貸倒引当金	△2,444
固定資産	2,593,875
有形固定資産	287,910
無形固定資産	1,307,070
投資その他の資産	998,894
資産合計	9,644,331

(単位:千円)

科 目	第24期 2008年3月31日現在
<b>(負債の部)</b>	
流動負債	4,670,196
買掛金	1,370,263
短期借入金	350,000
一年内償還予定社債	20,000
一年内返済予定長期借入金	48,797
未払金	297,624
未払費用	205,892
未払法人税等	463,020
前受保守料	1,568,714
賞与引当金	225,674
その他	120,208
固定負債	467,781
社債	70,000
長期借入金	73,105
退職給付引当金	286,878
役員退職慰労引当金	37,797
負債合計	5,137,977
<b>(純資産の部)</b>	
株主資本	4,330,696
資本金	1,298,120
資本剰余金	1,405,350
利益剰余金	1,627,226
評価・換算差額等	△8,157
新株予約権	7,579
少数株主持分	176,234
純資産合計	4,506,353
負債純資産合計	9,644,331

※当社グループは、当連結会計年度より連結計算書類を作成しているため、前連結会計年度との比較はしていません。

### 連結損益計算書(要約)

(単位:千円)

科 目	第24期 2007年4月1日から 2008年3月31日まで
売上高	11,612,279
売上原価	7,939,803
売上総利益	3,672,476
販売費及び一般管理費	2,572,624
営業利益	1,099,852
営業外収益	54,917
営業外費用	8,919
経常利益	1,145,850
特別利益	748
特別損失	137,883
税金等調整前当期純利益	1,008,716
法人税、住民税及び事業税	558,607
法人税等調整額	70,605
少数株主損失	5,000
当期純利益	525,714

### 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:千円)

科 目	第24期 2007年4月1日から 2008年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	874,063
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,013,514
財務活動によるキャッシュ・フロー	251,120
現金及び現金同等物の増加額	111,669
現金及び現金同等物の期首残高	1,947,229
現金及び現金同等物の期末残高	2,058,898

### 連結株主資本等変動計算書(2007年4月1日から2008年3月31日まで)

(単位:千円)

科 目	株主資本					評価・換算差額等		新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計			
2007年3月31日残高	1,294,600	1,401,830	1,212,770	—	3,909,200	△28,738	△28,738	2,176	—	3,882,638
連結会計年度中の変動額										
新株の発行	3,520	3,520			7,040					7,040
剰余金の配当			△111,258		△111,258					△111,258
当期純利益			525,714		525,714					525,714
自己株式の処分					—					—
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)					—	20,580	20,580	5,403	176,234	202,218
連結会計年度中の変動額合計	3,520	3,520	414,456	—	421,496	20,580	20,580	5,403	176,234	623,714
2008年3月31日残高	1,298,120	1,405,350	1,627,226	—	4,330,696	△8,157	△8,157	7,579	176,234	4,506,353

(注) 当連結会計年度より連結計算書類を作成しておりますので、期首の残高を記載しております。

## 個別財務諸表

### 貸借対照表(要約)

(単位:千円)

科 目	第22期 2006年3月31日現在	第23期 2007年3月31日現在	第24期 2008年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>			
流動資産	4,947,309	6,222,725	6,081,977
固定資産	1,089,802	1,384,572	2,806,416
有形固定資産	150,893	185,460	232,655
無形固定資産	328,950	412,498	455,653
投資その他の資産	609,957	786,613	2,118,106
資産合計	6,037,111	7,607,298	8,888,393
<b>(負債の部)</b>			
流動負債	2,491,697	3,444,510	4,210,742
固定負債	250,914	280,148	324,676
負債合計	2,742,612	3,724,659	4,535,419
<b>(純資産の部)</b>			
株主資本	—	3,909,200	4,353,552
資本金	—	1,294,600	1,298,120
資本剰余金	—	1,401,830	1,405,350
利益剰余金	—	1,212,770	1,650,082
評価・換算差額等	—	△28,738	△8,157
新株予約権	—	2,176	7,579
純資産合計	—	3,882,638	4,352,974
負債純資産合計	—	7,607,298	8,888,393

### 損益計算書(要約)

(単位:千円)

科 目	第22期 2005年4月1日から 2006年3月31日まで	第23期 2006年4月1日から 2007年3月31日まで	第24期 2007年4月1日から 2008年3月31日まで
売上高	8,122,703	9,949,123	11,620,604
売上原価	5,488,226	6,772,892	7,945,389
売上総利益	2,634,476	3,176,231	3,675,214
販売費及び一般管理費	1,889,795	2,198,933	2,545,151
営業利益	744,680	977,297	1,130,063
営業外収益	5,127	30,789	52,463
営業外費用	24,875	4,342	8,919
経常利益	724,932	1,003,745	1,173,607
特別利益	—	1,979	734
特別損失	142,323	28,927	137,883
税引前当期純利益	582,609	976,797	1,036,459
法人税、住民税及び事業税	264,294	436,243	558,474
法人税等調整額	8,021	16,576	70,585
当期純利益	326,336	557,130	548,570

### 株主資本等変動計算書(2007年4月1日から2008年3月31日まで)

(単位:千円)

科 目	株主資本					株主資本合計	評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金 資本準備金	利益剰余金 利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
2007年3月31日残高	1,294,600	1,401,830	3,204	1,209,565	1,212,770	3,909,200	△28,738	2,176	3,882,638
事業年度中の変動額									
新株の発行	3,520	3,520				7,040			7,040
剰余金の配当				△111,258	△111,258	△111,258			△111,258
当期純利益				548,570	548,570	548,570			548,570
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)						—	20,580	5,403	25,984
事業年度中の変動額合計	3,520	3,520	—	437,312	437,312	444,352	20,580	5,403	470,336
2008年3月31日残高	1,298,120	1,405,350	3,204	1,646,877	1,650,082	4,353,552	△8,157	7,579	4,352,974

## 会社概要 / 株式情報 (2008年3月31日現在)

### 会社概要

商 号 テクマトリックス株式会社  
(英語名 TechMatrix Corporation)

設 立 1984年8月30日

上 場 2005年2月18日

資 本 金 12億9,812万円

従 業 員 数 401名(うち98名は協力会社社員)

本 社 所 在 地 東京本社  
〒108-8588  
東京都港区高輪4丁目10番8号 京急第7ビル  
TEL:03(5792)8600(代表)  
FAX:03(5792)8700

国 内 営 業 所 本社御殿山分室  
〒140-0001  
東京都品川区北品川4丁目7番35号  
御殿山トラストタワー  
TEL:03(5792)8640(代表)  
FAX:03(5792)8740

大阪営業所  
〒541-0054  
大阪市中央区南本町2丁目6番12号  
サンマリオンNBFタワー  
TEL:06(6243)3801(代表)  
FAX:06(6243)3803

九州営業所  
〒812-0011  
福岡市博多区博多駅前1丁目5番地1号  
カーニープレイス博多ビル  
TEL:092(475)8051(代表)  
FAX:092(475)8052

### 役員 (2008年6月20日現在)

代表取締役社長	由利 孝	執行役員	大須賀 浩
取締役執行役員	依田 佳久	執行役員	小宮 修
取締役執行役員	大城 東	常勤監査役	内田 宗興
取締役	杉原 章郎	監査役	高山 健
取締役	西村 順介	監査役	和田 尚史
上席執行役員	中島 裕生	監査役	三浦 亮太

### 株式の状況

発行可能株式総数……………207,360株

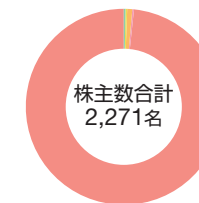
発行済株式の総数……………61,898株

株主数……………2,271名

大株主(上位10名)

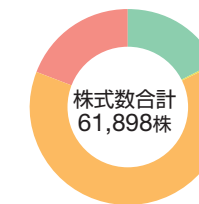
株主名	持株数 (株)	議決権比率 (%)
楽天株式会社	19,200	31.01
日商エレクトロニクス株式会社	18,473	29.84
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,499	8.88
資産管理サービス信託銀行株式会社(年金特金口)	1,833	2.96
指定単受託者中央三井アセット信託銀行株式会社1口 (常任代理人日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)	1,450	2.34
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	1,236	1.99
テクマトリックス従業員持株会	1,229	1.98
リスクモンスター株式会社	700	1.13
TIS株式会社	611	0.98
住友生命保険相互会社(特別勘定) (常任代理人日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)	391	0.63

### 株式分布状況



所有者別の株主数

金融機関	9名 (0.40%)
金融商品取引業者	9名 (0.40%)
その他法人	16名 (0.70%)
外国法人等	6名 (0.26%)
個人・その他	2,231名 (98.24%)



所有者別の株式数

金融機関	10,875株 (17.6%)
金融商品取引業者	213株 (0.3%)
その他法人	39,048株 (63.1%)
外国法人等	33株 (0.1%)
個人・その他	11,729株 (18.9%)